



希望記事

●今回はシングル関連記事が多かったですが、今後もシングル世帯に関する記事を折に触れて掲載してください。

生涯未婚率は右肩上がりですし、離婚も含めれば今後シングル世帯はますます増えていくことでしょう。社会の変化に合わせて、当誌においてもシングル世帯関連の記事は随時取り上げていきます。

なお、今号よりシリーズでお届けするファイナンシャル・プランナー・竹下さくら氏の「家族形態別ライフプラン講座」では、10月号で「子どものないシングル」、1月号で「子どものいるシングル」をテーマに取り上げる予定です。ご期待ください。

●1冊の「ALPS」を市役所職員全員に回覧しています。そこで20代、30代の年齢の方でも興味がわく記事の量を増やしてほしいと思います。

若い世代にも興味を持ってもらえるような誌面づくりに努めていきたいと思えます。なお、7月号では、コミュニケーションのコーナーで「ファッション」をテーマに、またキャリアのコーナーではポジティブに仕事に取り組む30代の地方公務員の記事を掲載予定です。

●退職後の居場所づくりという視点から、参考になる記事を読みたいですね。積極的な生きがいという意味ではなくて、一人でふっと息を抜けるような時間や場所をどうすれば持てるか、工夫をされている点をお聞かせ願っています。

休日の喫茶店で、一人で過ごす人であふれかえっている光景を見たりすると、「二人時間」を過ごしたい方が増えているのかなという気はします。一人旅も市民権を得ているようですし、ライフスタイルにも変化が出てきているのかもしれない。退職後の一人時間の作り方を単独テーマで取り上げることは難しいですが、何かの記事に盛り込めないか検討してみます。

その他ご意見

●インタビュー「人生は山登りとともに」の岩崎元郎さんの記事は、生きがいとは何かを考えさせてくれる内容でした。自然や仲間との繋がりが、生きがいを支えてくれることを痛感した次第です。

生きがいを見つけるヒントとなったのであれば幸いです。

●Useful life「対地雷被害者のいない世界を実現したい！」は、心に真っ直ぐ届いて感心させられました。今後も、こうしたテクニク的でない精神面を重視した記事の充実を期待します。

読み手として、執筆者である白井敬二さんの思いを、真っ直ぐに受けとめられたからこそのご感想なのでしょう。書き手と読み手の相性にもよると思いますが、今後も多様な方々の記事をお届けしていきたいと思えます。

●柳原誠さんのキャリア「50歳で早期退職し、FPとして独立した私の心境」を拝見し、公務員の立場に安心して向上心を失うことが危険であり、つぶしが効かない人材にならないよう意識してやっていきたいと感じました。

文中にあった、退職後に向け働いているうちにできる準備として、一番大切なことは、「いまの仕事」をどれだけ追求できたかということの言葉に、はっとさせられますね。

●ヘルス「更年期との付き合い方【男性編】」について、興味深く拝見することができました。今年58歳になりますので、既に経過しているかも知れませんが、振り返ると調子が悪い時、更年期だったのかも知れません。調子が優れない時は、男の更年期と思って肩力を入れないようにして行きたいと思います。

従来は女性だけと思われていた更年期が、男性にもあるとのこと。調子が悪い時は、その可能性も考慮して対処していったほうがよさそうです。

●パーソン「意識が変われば、まちは変わる」は、財政状況が厳しい市町村には非常にタメになる記事でした。今後もこのような内容の記事の掲載を望みます。

●パーソンの齋藤一成さんには、3年前、私どもの地域でも100円商店街に取り組もうと講師に来ていただいたので、懐かしい思いで読ませていただきました。

財政状況が厳しい中、奮闘されている地方公務員の姿は、今後も取り上げていきたいと思えます。

●Economy「通信費の見直し方」は役に立ったが、表面的解説であり、もっと中身を濃くして欲しかった。上記に関して沢山のことを浅く網羅するのではなく、少ないことを深く解説してほしい。そういった結局詳しい情報を探るのが大変で役に立たなくなりました。

全く知識のない方から、ある程度知識のある方まで幅広く対象としながら、深く解説するには、紙幅が足りないかも知れません。さらに深く知りたい方向けに、関連書籍を紹介するなどしていきたいと思えます。

●今回もいくつか扱っていただいた「介護」について。私自身は子育て真っ最中ですが、同年代で子どものいない人たちの悩みになりつつあるようです。転ばぬ先の杖で、予習しておこうと年初めに痛感しました。「仕事十育児」の次は「仕事十自分時間」になるのかどうか…同時進行は働く人の宿命ですね。

多くの人にとって家族の介護は避けて通れない問題だと思いますので、今年度のファミリーのコーナーでも、取り上げる予定です。

●シングル介護、シングル世代のプランが大変参考になりました。
●生涯シングルライフ、可能性大なのでとても参考になりました。

ニーズの高さを感じるシングル向けの記事は、今後も切り口を変えながらお届けしていきます。



通信員からの評価が高かった記事

当誌では、通信員の方に毎号、各記事について「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」の5段階評価をいただいています。ここでは「とても良かった」「良かった」の評価が多かった記事をベスト3までご紹介します。

- 1位…Family
他人事にあらず！明日はわが身の「シングル介護」 おちとよこ
- 2位…Economy
生活の質を落とさず出費を減らせる「通信費の見直し方」
佐々木康之
- 3位…Health
身体を整えるコンディショニング
有吉与志恵